

## 第528回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成20年2月20日（水）
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- |         |             |
|---------|-------------|
| 委員数     | 11名         |
| 出席委員    | 10名         |
| 出席委員の氏名 |             |
| 委員長     | 田代 高章       |
| 副委員長    | 宮澤 徳雄       |
| 委 員     | 伊藤 史典 大村友貴美 |
|         | 河村 泰信 工藤 和彦 |
|         | 熊谷志衣子 小松 務  |
|         | 澤口たまみ 矢佐 俊幸 |

欠席委員の氏名 小林 英男

### 会社側出席者

阿部 正樹	代表取締役社長
川島 敬司	常務取締役
菅野 秀樹	取締役テレビ営業局長
柴田 継家	報道局長
川上 隆	ラジオセンター長
鎌田 英樹	テレビ編成局長
中村 好子	制作部ディレクター

### 事務局

馬場由紀子	番組審議会事務局長
小笠原 勉	番組審議会事務局次長

4. 議 題 後藤新平生誕150周年記念番組  
シチズンスペシャル  
『未来に刻む百年の計ー今に生きる後藤新平』

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- ・政治家としてという見方をしていたが、実は医師としての功績も大きいことを初めて知った。特に東京都の水道水の消毒に初めて取り組み、結果として平均寿命が延びたことに貢献したのではないかと、という話を聞いて改めて大きい人物だったと感じた。
- ・後藤新平がどういふことをした人なのか分かり易く紹介されており、詳しく知らない人にとっての入門編としても高く評価できる番組になっていた。
- ・後藤新平について語る、養老孟司さんや榊原英資さんらの話の内容は説得力があって番組の質を高めたような気がする。
- ・多くの業績を挙げているのは分かったが、その背景になったもの、後藤新平の行動力を支えていたもの、人物や内面まで掘り下げてもらうともっと深みがある番組になったのではないかと。
- ・ナレーションも村上弘明さんが担当した方が統一感があったのではないかと。
- ・これだけ多くの業績を残した人なのに、何で今の日本でそれほど有名ではなく、人気がないのか不思議に思った。

### <社側>

- ・ナビゲーター村上弘明さんの起用は、後藤新平を余り知らない人にも一からわかるように作りたいと思ったことからでした。その人には役者的要素も求められる。なぜなら後藤新平の「政治の倫理化」の演説ができる人、役者であること。それから、岩手ゆかりの人がいいということで村上弘明さんをお願いしました。ナレーションもやった方が統一感があったのではないかとというご意見もありましたが、特に後半の部分で、台詞的な部分とか交差するところが多くなり、これを一人の人間がやってしまうと平面的な感じになったので、男女の違いでめりはりと立体感を持たせたいと思ったわけです。
- ・後藤新平のことをまずはみんなに知ってもらうために作りました。見て頂いて様々な興味が湧いてきたと思います。後藤新平という人間に興味を抱いてもらうような番組はできたのではないかと思います。